書店名・番線印

法政大学出版局◉新刊のご案内

2024年1月12日

通巻 344-1 号

① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させて頂きます。
③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。
④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

新刊委託 部数

法政大学出版局 2024年2月14日配本 定価4950円（本体4500円＋税） 四六判上製・370頁
有賀 誠、田上孝一、松元雅和 編著

普遍主義の可能性／不可能性

ISBN978-4-588-15135-4 C3031

★ 文化や言語、人種や性の多様性・特殊性が尊重されるべきグローバル世界のなかで、いま「普遍主義」はどのように可能なのか。西洋中心主義的・植民地主義的な価値の押しつけではなく、排他的なナショナリズムによる反西洋・反合理主義でもなく、新自由主義に回収されてしまうポストモダンでもない、真に平等なコスモポリタニズムの可能性を問う共同研究論集。分断を超える理論と実践のために。 【政治哲学】

☆関連書：キムリッカ『多文化主義のゆくえ』、同『土着語の政治』、ベンハビブ『逆境の中の尊厳概念』（小局刊）。

新刊委託 部数

法政大学出版局 2024年2月16日配本 定価3520円（本体3200円＋税） 四六判上製・234頁
押山詩緒里 著

〈砂漠〉の中で生きるために アーレント政治哲学の現象学的研究

ISBN978-4-588-13039-7 C3010

ハンナ・アーレントの政治理論の根底にあり、その独自性を形づくっているのはどのような哲学的思考なのか。「現れの空間」としての「政治的生」を可能にする、私たちの日常世界の根本構造を現象学的にとらえ、「共通感覚」と「世界への愛」こそが、異質な人々の自由な語りと聴取による言論空間をひらくことを論証する。これまでのアーレント解釈を一歩進める気鋭の論考。 【政治哲学】

☆関連書：日本アーレント研究会『アーレント読本』、対馬美千子『ハンナ・アーレント——世界との和解のこころみ』（小局刊）。

新刊委託 部数

法政大学出版局 2024年2月16日配本 定価2420円（本体2200円＋税） 四六判並製・240頁
李舜志（り すんじ） 著

ベルナール・スティグレールの哲学 人新世の技術論

ISBN978-4-588-13038-0 C1010

★★ 『技術と時間』『象徴の貧困』『無信仰と不信』などの著作で知られる哲学者B.スティグレール（1952〜2020）。「人新世の技術論」とも称されるその壮大な思索は、産業資本主義と自然環境の危機に立ち向かう理論的・実践的プロジェクトであると同時に、技術や知性と共存せざるをえない人類の歴史を根源から問い直すものだった。膨大な著作のエッセンスをわかりやすく紹介する日本初の入門書！ 【哲学・思想】

☆関連書：スティグレール『技術と時間1・2・3』、宇佐美達朗『シモンドン哲学研究——関係の実在論の射程』（小局刊）。

新刊委託 部数

法政大学出版局 2024年2月22日配本 定価5170円（本体4700円＋税） A5判上製・478頁
竹本研史 著

サルトル「特異的普遍」の哲学 個人の実践と全体化の論理

ISBN978-4-588-15134-7 C3010

冷戦下、マルクス主義との伴走過程で生まれ、社会運動や権力、組織集団への原理的考察を展開した大著『弁証法的理性批判』（1960年〜）。時代の刻印を明確にとどめたこの書にいまなお宿る哲学的潜在力とはどのようなものなのか。サルトル的な対他関係の探究から、同時代のスターリン主義批判や加藤周一の知識人論までを視野に、個と集団をめぐるダイナミズムの問題系を多面的に掘り下げた労作。 【哲学・思想】

☆関連書：澤田直編『サルトル読本』、澤田直『サルトルのプリズム』、生方淳子『戦場の哲学』（小局刊）。

新刊委託 部数

法政大学出版局 2024年2月22日配本 定価4400円（本体4000円＋税） 四六判並製・400頁
岡本和子 編

暴力の表象空間 ヨーロッパ近現代の思想・文学・文化からの視点

ISBN978-4-588-13040-3 C1010

★ 世界は暴力に満ちている。多様な形態をとって表出する暴力にわたしたちはどう対峙しうるだろうか。精神分析論、翻訳論、パンデミック危機に伴う暴力を剔出し、社会的承認論、ケアと贈与、サッカーと市民社会をめぐる考察から共同体と暴力との関係を問い直す。そして、大テロル期ソ連、戦間期ベルリン、北アイルランド紛争時代の文学を読み解き、暴力の根源に迫る。現代社会の喫緊の課題を考える手引き書。 【哲学・思想】

☆関連書：バーンスタイン『暴力——手すりなき思考』、ジラール『暴力と聖なるもの』（小局刊）など。。

新刊委託 部数

法政大学出版局 2024年2月22日配本 定価3630円（本体3300円＋税） 四六判上製・280頁
ジャン＝フランソワ・リオタール 著／松葉 類 訳 《叢書・ウニベルシタス 1167》

レヴィナスの論理

ISBN978-4-588-01167-2 C1310

★★ リオタールはその最初の書物においてレヴィナスの他者論を現象学の重要な展開のひとつとして論じ、その後も生涯にわたりレヴィナスから継承した〈他者の呼び声〉を軸とする倫理学分析を続けた。レヴィナスとカントの差異を示す未完の表題作、レヴィナスとリオタールが対峙したセーヴル討論の記録「知とは別様に」のほか、現象学的他者論、言語論およびユダヤ的倫理を考えるうえで不可欠の五篇を収録。 【哲学・思想】

☆関連書：リオタール『言説、形象』『文の抗争』、レヴィナス『困難な自由』（小局刊）など。

ご担当者様 氏名：[ ] 担当ジャンル：[ ] TEL：[ ]

【お願い】
配本の際、ご担当者様の記名が必要となりました。
ご面倒とは存じますが、ご担当者様欄のご記入をお願い申し上げます。

Fax. 03-5214-5542

法政大学出版局
〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3
Tel. 03-5214-5540 E-mail: sales@h-up.com URL: https://www.h-up.com/